

2 年理数科マレーシア・韓国研修

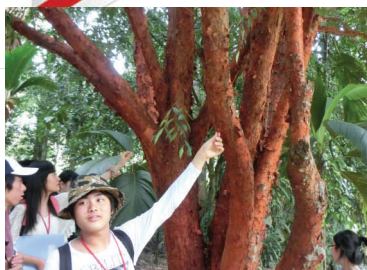
今年度、2 年理数科は「マレーシア・韓国研修」を実施しました。マレーシアで熱帯雨林学習を実施するとともに、研究者や学生との科学交流を実施しました。海外で自分たちの研究を発表する機会を持つことで、研究内容の深化と、国際的なコミュニケーション力の伸長を図りました。トランジットの時間を利用して、韓国ではIT分野の研修を実施し、情報化社会と科学技術について学びました。

研修日程

平成26年10月7日(火)～10月11日(土) 4泊5日(機中泊1日)

月日(曜)	地 名	現地時刻	実施内容
10/7(火)	学校発	6:10	学校→新発田駅→月岡駅→豊栄駅 貸し切りバスで空港へ
	新潟空港	7:30	新潟空港着 チェックイン・出国手続き
	韓国仁川空港	9:30	空路 韓国 仁川空港へ KE-764 便
		11:45	仁川空港着
	クアラルンプール空港着	16:35	空路 マレーシア クアラルンプール空港へ KE-761 便
		21:55	到着 貸し切りバスでクアラルンプール市内ホテルへ
10/8(水)	クアラルンプール市内	9:00	植物園実習と研究者による見学ツアーと講義
		13:00	Water Warrior チームとの水質調査プロジェクト発表会
		16:45	SS 探究 意見交換会/キャンパスツアー マラヤ大学出発
10/9(木)	クアラルンプール近郊	8:45	マレーシア森林研究所(FRIM) 森林研究所の職員によるトレッキング、植物調査
		12:00	ホテルへ 昼食と着替え
		15:30	三井住友海上火災会議室 JICA 講演会・三井住友海上火災職場見学
10/10(金)	セランゴール州	8:45	セランゴール州 PINTAR NEGARA 高校着 生徒交流・SS 探究についての紹介
	クアラルンプール近郊	14:30	ペトロサイエンス見学
		16:30	ペトロナスタウンタワーで夕食
	クアラルンプール国際空港へ	19:00	クアラルンプール国際空港へ
	韓国 仁川空港へ向け出発	23:15	韓国 仁川空港へ向け出発 KE-762 便 機中泊
10/11(土)	韓国 仁川空港着	6:40	韓国 仁川空港着 出国後、仁川付近の休憩施設へ
		10:00	三星電子広報館(SAMSUNG D'light)
		14:00	デジタルパビリオン
		15:30	仁川空港へ
	新潟空港着	18:25	空路 新潟空港へ KE-763 便
		20:20	新潟空港着 入国審査・手荷物受け取り
		20:40	解散式 貸し切りバスにて学校へ 豊栄駅→月岡駅→新発田駅→学校到着

たくさんのものを見たり、体験したりでき、たくさんの人と交流することができ、とても充実した旅行だった。
もっと円滑にコミュニケーションをとるために英語力をつけたいと思った。
空気や植物、動物の様子、民族や人々の雰囲気などを直接感じることで、とても良い経験になった。
2年1組 谷澤 宏大

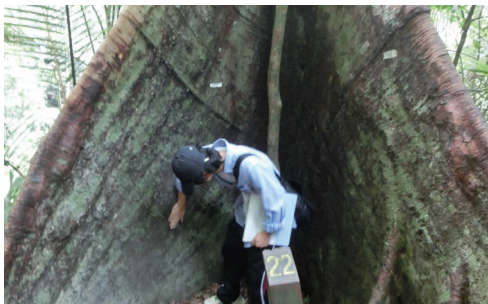


研修について



10月8日(水)

午前中は大学内にある植物園で英語の解説を聴きながら熱帯植物を観察し、触れるという実習に臨みました。その後学生食堂で昼食をとり、午後の全体会に参加しました。そこでは、大学の Water Warriors という学生組織と芝高・水質調査班がそれぞれ英語で発表を行いました。続いてSS探究の班別に分かれて意見交換会、水質調査、研究室訪問などが行われました。



10月9日(木)

午前中はマレーシア森林研究所でトレッキングをしながら熱帯の植物調査を行いました。ここでもガイドによる英語の解説がありました。午後は三井住友海上火災会議室にてJICA講演会並びに三井住友海上火災の会社紹介がありました。その後三井住友海上火災の職場を見学しました。これらは新発田高校同窓会の多大な協力のおかげで実現しました。



10月10日(金)

午前中はセランゴール州のPERMATAPINTAR NEGARA高校で生徒交流並びにそれぞれの学校による研究が2つずつ英語で発表されました。午後はツインタワーとしては世界一高いペトロナスツインタワーへ行き、その中にあるペトロサイエンスを見学しました。その後夜行便の飛行機に乗って韓国・仁川空港へ向かいました。



10月11日(土)

韓国・ソウルでサムスン電子広報館とデジタルパビリオンを見学しました。その後最終的に新潟空港に到着したのは夜の8時過ぎでした。

事前学習 事後学習

事前研修について

- ① SS英語Ⅱで、英語ポスターを作成し、文化祭で展示。
- ② 敬和学園大学講座でプレゼンテーション練習を実施。
- ④ SS英語Ⅱで、熱帯雨林の英語読本による学習を実施。
- ⑤ 新潟県立自然植物園における研修を実施。
- ⑥ SS英語Ⅱで、研修先の英語パンフレットやWebページを翻訳して手書きの紹介ページを作成。

事後研修について

- ① 英語でのプレゼンテーション実習をSS英語Ⅱで実施し、総合的な学習の時間に発表を行う。
- ② 熱帯雨林学習のまとめと、英語での個人レポートを作成し、研修報告集を作成する。

アンケートから

英語に対する意欲や関心

